

Title	電気化学検出器を用いるカテコールアミン類のHPLC
Sub Title	
Author	高井, 信治(Takai, Nobuharu) 海老沢, 麻子(Sakuma, Ichiro) 井地, まゆみ(Shinozuka, Noriko) 佐久間, 一郎(Nagata, Yoshiko) 篠塚, 則子(Matsushima, Yoshikazu) 永田, 佳子 松島, 美一
Publisher	共立薬科大学
Publication year	1991
Jtitle	共立薬科大学研究年報 (The annual report of the Kyoritsu College of Pharmacy). No.36 (1991. ) ,p.80- 80
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	抄録
Genre	Technical Report
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062898-00000036-0080">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062898-00000036-0080</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 電気化学検出器を用いるカテコールアミン類の HPLC\*

高井信治\*\*, 海老沢麻子, 井地まゆみ, 佐久間一郎\*\*\*, 篠塚則子\*\*, 永田佳子, 松島美一

電気化学検出器を用いる高速液体クロマトグラフィーは高感度, 高選択性の分析法として有望視され, 開発が急がれている。著者らの開発した装置によりフェノール性 OH 基をもつ 12 種類の医薬品の検出を試みた。アセトアミノフェン, L-塩酸イソプレテレノール, 塩酸エチレフリン, 塩酸フェニレフリン, メチルドパ, 硫酸サルブタモール, 硫酸テルブタリンの 7 種を高感度, 再現性よく検出した。カラム充填剤に MPG-C8 を用いるとカテコールアミン類を短時間で検出できた。作用電極として金電極が選択性電極として使用できる可能性を示した。

電気化学検出器は将来バッテリーで作動させ, 小型軽量化し, ベットサイド分析が可能となることを示唆した。

---

\* 本報告は J. Life Support Technol., 3, 88—93 (1991) に発表  
\*\* 東京大学生産技術研究所  
\*\*\* 東京電機大学